

香美市教育委員会定例会会議録

(令和5年11月29日)

招集年月日 令和5年11月22日(水)
招 集 場 所 香美市本庁舎 2階会議室
会議の日時 令和5年11月29日(水) 午前9時
出 席 者 白川 景子 宮地 憲一 浜田 正彦 西 美紀
欠 席 者 小松 麻由

説明のための会議出席者

教育次長	中山 泰仁
教育振興課長	一圓 まどか
生涯学習振興課長	黍原 美貴子
教育振興課対策監	田村 香江
教育振興課学校教育班	山中 さや

職務のための会議出席者

会議録署名委員

宮地委員

(開会時刻 午前9時00分)

教育長	ただ今から、令和５年１１月香美市教育委員会定例会を開催いたします。本日の委員会の欠席委員は小松委員さんとなつてございます。４名中３名ご出席いただいておりますので、会を開催させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。 それで、本日の議事録の署名委員さんは小松さんだったんですけれども、宮地委員さんをお願いをいたします。 では、前月の議事録の承認については、皆様いかがでございますか。 「はい」という声あり
教育長	では、承認をいただいたということでよろしくお願いをしたいと思います。 それでは、私のほうから報告をさせていただきます。 １１月１１日に香北中学生が、「地元商店とウクライナ支援」ということで、メレンゲ菓子を共同開発しました。私が行った時にはほとんど売れておりまして、買い求めが出来なかったんですけれども、新聞で記事が大きく取り上げられました。子ども達はそれぞれ探究課題を設定して、中学生は特に、自分達がそれぞれのチームで様々な課題を探究しているところです。今回、４人の子ども達がウクライナ人男性にオンライン取材をする、大使館に連絡取るなど、探究する中で菓子を開発した、という記事になりました。ＩＢ教育らしい、非常に立派な、そして、本気で取り組んだ活動の結果を、このように記事に取り上げていただけて非常に喜んでおります。 香北中学校への視察訪問も本当に後を絶ちませんで、やはり何処の県も市町村さんも、子ども達、それから学校の教育ということを中心に、地域の活性化を目指し、持続可能な地域社会をどうやって維持していくのかということで、一生懸命だなということを、肌で感じるこの頃でございます。何処よりも早くこういった教育を取り入れて、物部町、香北町、土佐山田町それぞれ特色ある教育振興、学校づくりに取り組んできた香美市の教育には、本当に、後から入りました者として、非常に敬意を表するところでございます。 委員の皆様も本当に、これまでご苦労様でございましたが、今後も引き続きよろしくお願いいたします。 下の記事につきましては、舟入小学校の近藤校長先生が働き方改革を課題に論文を出されまして、学校部門の最優秀に選ばれました。今年、組織を変えて、みんなで学校改革と働き方改革に、積極的に取り組まれた校長先生で、そのことを謙虚に論文に表して、審査に応募をされて最優秀をいただいたということは、香美市にとっても大きな名誉だなと、思った次第でございます。

浜田委員	済みません。この論文はネットかなんかで見れるんですか。
対策監	お渡しさせてもらいます。
宮地委員	校長会なんかでね、働き方改革やったら、ちっとでも参考にしてもらったらいいいんじゃないかと。
教育長	そうですね。はっきりデータが数値で示されていますので、非常に有難い資料ですね、タイムリーな。議会が12月1日に始まりますけれども、もう既に議員さん方3人ぐらいから、香美市の働き方改革の時間はどれだけ減っているのか、お問い合わせがあっている状況ですので、ありがたいことかなと思っております。
宮地委員	タイムリーで良かったです、そしたら。
教育長	良かったです。併せてですね、後ほど働き方改革の時数削減につきましては、いよいよ国も、厳しめの通達を出されました。これにつきまして、皆様方にご審議をいただきたいことがございますので、よろしく願いしたいと思います。 あと1点は、山田高等学校と香北中学校、大宮小学校のグローバル人材の研究発表会がございました。この発表会は非常に素晴らしくて、来年度も引き続き行われるわけがございます。その時に向後先生という、元英語の教科調査官をされた方のご講演がありました。その中で痛切に感じたことは、これからの社会を生きていく子どもにとって、必須条件となるのがICTの活用能力、情報活用能力ですね。いわゆるICTを含めた情報活用能力が正しく発揮されないと、ゲームとかSNSだけの技能ということではなかなか厳しい。自分の生涯設計をしていく上の一つのツールとして、情報活用する技能というものが絶対必要だなということ、併せて英語をいかに使えるのか、というこの2つが無いと、これから先厳しいかなと実感いたしました。今後、香美市の教育を考えていく上で、香美市の子ども達には、ICTもそうなんですけれども、英語教育に関しても凄く弱さを感じます。向後先生のお話の中で、英語の教育自体は非常に難しくなるでしょうと。まず英語を教科の学習として受ける小学生が、全く白紙の子ども、それから、幼稚園から英語を学んでいる子ども、それから、塾へ行っている子ども、楽しみながら英語教室へ通っている子どもというように、英語に対して多様な経験を持つ子ども達が、教室に集まって学習をしていく時に、どういう力がついたのか、どういう力をつけていくのかということを考え、小学校の段階から厳しい状況が考えられます。今後は、その二つの視点を外さずに、しっかり取り組まないと、子ども達が大人になった時に困るのではないかと、ということを感じた研

	究発表会でもございました。 香北中の子ども達は凄いです。自分が知っている英語を使って、例えば持続可能な社会ってどういうふうに表示したらいいんだろうね、ということを概念砕きから始まって、その概念砕きの一つ一つの英語を繋ぎ合わせて、こういう言葉で表すことは出来ませんか、というようなやりとりをA L Tさん方とするという、活用型の授業でございました。高等学校の先生方もびっくりしておられましたし、非常に高い評価をいただいたところです。これを香美市全体に広げていかなくてはなりません。そこで12月の校長会は、香北中学校で開催させていただくこととしております。今回のことだけではなくて、香北中学校、大宮小学校へは校長会の会場として、毎年1回必ず此处を会場に行うということが、I B教育の良さを香美市全体に広げていくことに繋がる、というふうに考えております。 ちょっと長くなりましたが、報告は以上でございます。 何かご意見とかご質問とか。
宮地委員	去年、英語の発表はしましたよね。 香北中で授業を見たんですが、ああいう形の授業だったんですか。
教育長	いや、もっと…
宮地委員	もっと進化したような…
教育長	もっと進化しましたね。もっと個の力がつきました。あの時は全体で一緒に…
宮地委員	そうです。
教育長	考えていくっていうところで、なんとかこう救われてる…
宮地委員	グループになってやりましたよね。
教育長	はい。そういうところもありましたし、先生も何となく許してるっていう場面もあったんですけど、今年度はもう一人一人、グループではあるけれども、個の力が発揮されてる場面、それから、先生達が違うところは違うと、きちっと指導していく場面がありました。凄く良かったですね。
宮地委員	なるほど。

教育長	それで、その時に五百蔵教頭先生から、英語の先生で今年着任 1 年目ですが、「香北町の子どもは素晴らしいと思いました。授業をする時に、実は英語っていうのは誰とでもコミュニケーションが出来ないといけないんです。そうなった時に直ぐに、じゃあ人を変えて、グループ変えて、チェンジして、英語でやりとりしてくださいって言われた時に、こういうふうにパッと動ける学校って、まあほぼ無いと思います。」というご発言がありました。それは、I B 教育でずっと小学校の時から、いろんな人とこうコミュニケーション取りながら、考え方を吸収し合ってやっていく、ということが出来ているから実現するのであって、しかも英語を使った授業で、はい、チェンジしてくださいって言われた時に、なかなかそうは出来ないんですっていうお話でした。 私の話、伝わりますでしょうか。
宮地委員	伝わります。去年のことを思い出しながら話聞いてました。去年は 3 年生でしたから。去年の 2 年生が今年の 3 年生ですよ。
教育長	そうですね。
宮地委員	あのおとなしい子がね、どれだけやれたかなと思って想像しよった。どちらかと言うとおとなしい子でした。
教育長	そうですね、驚きました。
宮地委員	2 年生、今の 3 年生はね。
対策監	今の 3 年生は去年の 3 年生を見てるので、僕達、私達もああやってやりたいんだと。ということは自分達で、自分自身で負荷をかけて、そこにみんなで頑張って、届くようにやるぞっていうところが、凄くモチベーションが高まる一つの結果になったということと、今、教育長がおっしゃられたとおり、概念をかみ砕いていくというところで、言葉をかみ砕いて概念理解に到達するんだっていうところを押さえつつ、先生がしっかりと徹底して力をつけてきたということが、この間の発表会に表れていたのかなと思ったところです。またこれで、子ども達も自信をつけていきます。 次は 12 月 23 日に高知会館で、こういう、自分達が取り組んできたことを世界に発信するというパネルディスカッションを、香北中の子ども達、大宮小学校の子ども達が、他の同じ授業を受けている学校の子ども達と一緒にやるようになります。

	これは、グローバル人材育成事業の今回の公開授業の一連になるんですけど、「Discover Kochi Project」ということで、高知の良さを世界に発信しようという、そういったプレゼンを、代表が行うことになっております。
宮地委員	ということは、この１年間で、この３年生が物凄い成長したということね。
教育長	成長しましたね。
宮地委員	この１年間で急激に伸びたと、それはやっぱり、モチベーション高まってきたんやろうね。子ども達は、３年になったらやるぞみたいなところがあつてね。良かったと思いますね、素晴らしいですね。
対策監	人間を大切にするという、香北中の学校目標があるんですけど、それは、この学年が中１に入った時に、校長先生が変えたんですね。それだけ人間関係がうまくいってなくて、コミュニケーションっていう話がありましたけど、とにかく常にトラブルがあるみたいな、ところからやはりこう…
宮地委員	でも素晴らしいですよ、やっぱり成長してきているから。
教育長	グローバル人材育成事業ですが、県から昨年度、香美市で受けていただけないかというお話がございました。いろいろ課題がある中で、香北中学校のＣＳの皆さんから、先生方が多忙であると。だから職員を１人増やしてもらいたい、という要望が上がってきておりました。けれども、加配１人をここへ置くことは非常に難しいものですから、指定事業をいただいて、プラス１の加配を配置していただくしかないなと思っておりましたら、今城次長から、こういう指定事業をしますと。ついては１人、英語の先生をプラス１でおつけしますがいかがですか、というお話がありました。結果的には良かったと思っています。 それでは、議事に入っていきたいと思います。よろしく願いいたします。ただ今から議事に移ります。議案第１号、区域外就学について、事務局より説明お願いいたします。 議案第１号「区域外就学について」 (議案第１号は非公開審議案件)

教育長	続きまして、議案第２号、事務局より説明をお願いします。 議案第２号「通学区域（校区）外通学について」 （議案第２号は非公開審議案件）
教育長	続きまして、議案第３号、区域外就学につきまして、よろしくお願いいたします。 議案第３号「学区域外就学について」 （議案第３号は非公開審議案件）
教育長	本日の議案につきましては以上でございます。報告事項は特にございませので、これで教育委員会を閉会します。 （閉会時刻：午前９時３７分）